

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月16日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103763
法 人 名	医療法人 三州会
事 業 所 名	グループホーム せせらぎ
所 在 地	鹿児島県鹿児島市真砂本町4番7号 (電 話) 099-254-6407
自己評価作成日	令和3年8月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年10月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

主治医との連携、栄養士との連携を密にして体調面の管理に努めている。同建物内に小規模多機能ホームの事業所が併設されていて、利用者同士の交流、職員間の交流等が図られている。  
町内のお店での買い物を心がけており、配達時に町内の催し物等お誘いを受ける機会になっている。(この1年間は参加せず)

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所母体は医療法人で、24時間医療連携体制が整っており、主治医と連携しながら、適切な医療が受診できるよう支援している。
- ・事業所1階入口に相談室があり、地域の相談にも対応している。また、家族・地域・施設を結ぶ広報誌を作成し、目に触れる場所に設置している。
- ・コロナ禍の中、個別でのドライブ支援や毎月の行事には利用者が楽しめるよう体を動かすゲームなど工夫している。
- ・面会は自粛中であるが、各居室に連絡ノートがあり、毎日、その日の担当者が、利用者の生活状況を記録している。
- ・職員は笑顔で生き生きと、状況をしっかりと把握し、責任を持って楽しく支援している。管理者は相談や話しやすい環境づくりを心がけ、職員の意見や希望・要望を法人の代表者会議で報告している。
- ・毎月、勉強会を開き自己研鑽できる環境作りや研修会の参加費用のサポート体制がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各自がネームの中に入れている。理念に基づいた実践に繋がるように、ミーティングの時に理念の共有に繋がるようにしている。	理念は玄関やスタッフルーム、ホールに掲示し、重要事項説明書・パンフレット・せせらぎ便りにも掲載している。コロナ感染防止の為、現在は唱和していない。ネームの中にも掲示し、月1回のミーティングで振り返り、実践に繋がるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウィルス感染防止策として、地域にでかけることや、ホームへのお誘いはできなかつた。事業者としてのつながりは、保たれている。地域の商店からの購入等を行っている。	自治会に加入し、毎月のコミュニティ誌で地域情報がわかる。コロナ感染禍で地域行事は自粛し、事業所の行事の際は、現在は自粛している。地域商店からの購入や近隣住民から花の差し入れなどもあり、日常的に交流している。1階に相談室があり、電話での相談にも応じている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民のホーム体験の場や民生委員・老人会代表の方からの意見を聞く機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム内の開催、話し合いはこの一年間していない。各資料を郵送し、電話等にて情報交換を行った。	会議は2ヵ月毎に開催し、入居者やホームの状況・行事の報告・職員の研修等を文書で委員へ郵送し報告している。電話等で情報交換し、提案で大きい折り紙を使い、いろいろな作品作りに取り組んでいる。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業を進めていく中で生じる運営サービスの課題について、その都度相談している。	市担当者とは申請などの書類提出で窓口に出向いたり、課題についてその都度相談している。生保担当者とも書類持参したり、毎月連絡する等、情報共有し協力関係を築いている。市主催のリモート研修会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束研修内容に沿って身体拘束委員会での話し合い、検討を行い、身体拘束はいかなる場合も行わないことを、基本に取り組みや工夫をした支援を心掛けている。2ヵ月に1回話し合いをしている。	マニュアルに沿っての勉強会や身体拘束廃止委員会を2ヶ月毎に実施し、スピーチロックについても資料提示して話し合いをしている。日中の玄関施錠はせず、個別に見守りやすい場所を工夫したり、外出希望者には落ち着くまで寄り添う支援をしている。夜間もホールで見守り支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	年間計画、研修の中で学ぶ機会を持ち、又ミーティングや勉強会においても理解を深めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	対応が昼用と認められる利用者には、関係機関への支援を行っている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書や重要事項説明書の読み合わせをしながら、その都度、質問や疑問点を伺い納得のいく説明を行っている。利用料金や加算についても詳しく説明を行っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	面会を中止せざるを得ない状況のため、文書や広報等を用いて発信している。家族との意見交換は電話等で行っている。	利用者からは日々の関わりの中で意見を聞き、コロナ感染禍で家族会やアンケート調査を自粛している。毎日担当者が居室の連絡ノートに状況を記載し、毎月の家族の面会の時に連絡ノートから対応し、利用者の生活状況等を話し、意見等を聞いている。2ヵ月に1回、広報誌を発行し職員の入退職者など報告している。家族とは電話でも意見や提案を聞き運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日のミーティング、月1回のカンファレンス、必要時個別面談の機会を持ち、その都度意見を聞いている。管理者は法人の代表との会議にも週1回参加して職員の意見等も報告している。	管理者は毎日のミーティングや毎月のカンファレンス、必要時個人面談をする等、意見や提案を聞き、法人の代表者会議で報告している。日々のケアの中でも意見や要望が言いやすい環境づくりを心がけている。食洗機の購入でケア時間の確保に繋がっている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己実現のための目標管理カードを作成し1年に1回結果を評価し、各自が向上心を持って働く条件に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での研修計画に沿っての学習や施設外の研修の参加を行い、カンファレンスの時には、個々の要望を聞きアドバイスの場としている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡会を通じての研修や意見交換の場に参加して質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	事前面談での生活状態や本人の状態把握をしている。直接本人に会って話を聞きながら本人の想いを受け止めるように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	御家族の求めているものをしっかりと理解し対応につなげるよう努めている。話を充分に聞く機会を持つようにしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談時、本人・家族の想いを状況を見極めながら必要と思われるサービス調整等も含めて対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	支援する側される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活が出来る場面作りや声かけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時又は連絡ノートや電話等により、状況報告をその都度お伝えしている。要望等聞くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	この1年間を通しては、交流や人や場の関係が途切れざるを得ない状況になっている。	コロナ感染禍で面会や外出が自粛中であるが、窓越しやリモートでの面会を行ったり、個別でドライブ支援をしている。2ヶ月毎に訪問理美容の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	みんなで過ごす時間や気の合う方同士で過ごせる場面作りを行っている。心身の状態や気分・感情での日々変化することもあるので注意深く見守っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話等で話し合いをする機会を持ったり、ホームに立ち寄って頂くお誘いをしたり、関係を大切にするように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者中心のケア・尊厳を主に考えたケアを心がけるように、話し合いや情報交換に努めるようにした。</p>	<p>日々のケアの中で、一人ひとりの思いや暮らし方の意向の把握に努めている。困難な場合は、表情や動作、食欲の低下、一日の変化等、職員は対応のパターンを把握し、家族や主治医に情報提供し、情報や助言に基づき職員で話し合い本人中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人自身の語りの中から家族・知人等の関係の方からの話や情報を得ながら把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者1人ひとりの生活リズムを把握しながら行動や動作からも感じとり心理面等を見極め全体の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の意見・要望を取り入れてアセスメントの結果をふまえてプランの作成をし、必要時又は定期的に見直し検討を行い、利用者主体の生活を反映した計画作成をしている。</p>	<p>本人・家族の意見や要望を取り入れ、管理者と主任・職員・看護師・栄養士とで担当者会議を行い意見交換し、主治医の意見を参考に現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎、その都度見直している。状態変化時はカンファレンスで意見交換し見直している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	行動記録や個別に各自チェック表を用いて記録している。職員の気づきや利用者間の情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々変化する状況や体調面や変化等に必要時に必要な支援を行い本人・家族の要望に応じている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域で暮らせるように民生委員・消防署等と連絡をとり、協力を呼び掛けている。ボランティアへの協力もお願いしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望するかかりつけ医となっている。ご家族の協力で受診を行うこともあるが、同行不可能な場合や急変時は職員で代行する。入所時の契約時、同意を得ている。定期的な受診や検査等、主治医と相談しながら行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。入居時に母体医療機関で受診、診断書を作成し健康管理している。月1回の定期健診がある。日常の受診は看護師が付き添い、他科受診の場合看護師が主治医に相談し対応している。24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。歯科は訪問診療である。検査や健診結果など家族へ手紙や電話で報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職を配置していて、常に健康管理や症状に応じて速やかに対応している。医療連携体制をとっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は適宜面会し、主治医との連絡を密にして家族への説明を行うようしている。退院計画に沿いながら回復状況を見守り退院支援に結びつけている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に指針による説明を行い確認している。重度化した時や終末期時には、医師を交えた話し合いを重ねながら、状況に応じた対応に努めている。	入居時に重度化や終末期についての指針を説明し同意書を貰っている。状態変化時、主治医を中心に話し合いを行い意思確認し方針を共有して、状況に応じた対応や支援をしている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応については、マニュアルを用いて周知徹底を図っている。年間計画の中にも取り入れて研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、消防署の協力を得て年2回、利用者と共に避難訓練を行っている。地域の自衛消防員の方にも、協力をお願いしている。	年2回昼夜間想定で消防署立会と自主訓練を実施している。火災時の避難訓練、消火訓練等実施している。地域消防団との協力体制も構築している。地震発生時のマニュアルもある。非常用として、水・レトルト食品・缶詰・乾パン・チョコなどの菓子類を備蓄し、カセットコンロ・ヘッドライト・ヘルメット等を準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>勉強会やミーティング、又は折に触れる職員の意識向上を図るとともに、利用者のプライバシーや誇りを損なわない対応を話し合っている。まずは本人の気持ちを大切に考えた言葉かけに努めている。</p>	<p>マニュアルを基に資料を用いての勉強会やミーティングで意識向上を図っている。言葉遣いはその場で注意し、指導している。排泄時や入浴時は、利用者の特性に応じて対応し、言葉かけでは声のトーンや表情に気を付け、安心してもらう対応を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>職員側の決めたことを押し付けるないように、日々の生活の中から本人の関心、嗜好を見極め希望が叶えられるような、支援を心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが、時間に沿った過ごし方ではなく体調、気分に応じて一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご本人・家族からの好みや希望に添えるように、個々の個性、希望に応じた対応になるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養上の意見を聞きながら、利用者の好みや形態をふまえてメニューを作成している。個々の力に応じて買い物や手伝いと一緒に行っている。利用者の出来ることを自然な形で参加する雰囲気を作るよう心がけている	献立は利用者の好みを踏まえて職員が作成している。嚥下機能に応じてミキサー食・トロミ食・一口大の刻み食等、代用食も提供している。誕生日には赤飯や寿司・手作りケーキ、敬老会には弁当を提供し、食べるのが楽しみとなっている。利用者の能力に応じて、職員と一緒にジャガイモの皮剥き、食器や台拭き等、自然な形で参加し、準備や片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は基本的に $1000 + \alpha$ としているが、個々に応じて水分量や本人の好みに応じた飲み物も楽しめるように工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけや個々に応じたケア方法を実施している。ハミングッドの使用やガーゼ等による口腔内の清潔、義歯の洗浄等を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の排泄パターンに合わせて時間毎の声かけトイレ誘導をしている。昼間はトイレでの排泄を主にして支援し、夜間も個々に応じた対応に努めている。トイレでの排泄を基本とした支援を行っている。	排泄チェック表でパターンを把握し、羞恥心に配慮した声掛けを心がけ、トイレでの排泄支援をしている。リハビリパンツにパットを個々人に応じて使用している。移動手段は車いすや歩行器・杖使用の独歩である。看取り期を脱した利用者が、トイレ排泄支援により筋力維持に繋がった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表を用いて個々の排泄確認を毎朝行い、排泄の有無に応じて個々の対応策を行うようにしている。毎朝又は2～3日に必ず排泄できるように食物繊維の摂取を主にしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴支援をしているが、基本的には毎日声かけを行うようにしている。拒否される時は時間をずらしたりして試みるようしている。1人ひとりに合わせた入浴時の対応、声かけを心がけている。	週3回を基本に入浴支援している。順番等希望に応じて対応している。冬季に入浴剤・柚湯・みかんの皮等、香りが楽しめるように支援している。現況は入浴拒否者がなく、スムーズに入浴支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限り日中の活動を促し、生活リズムを整えるようにしているが、個々の状態を見極めながら休息がとれるようにしている。夜間寝付けない時には温かい飲み物やおしゃべり等で対応している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーをファイルに入れて整理し職員が把握し確認できるようにしている。服薬時は必ず本人に手渡しきちんと服用するまで確認する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事で役割や楽しみが持てるように支援を行っている。個々にあった楽しみごとや、晴らしになるような働きかけを心がけている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	この1年は外出の機会はほぼ出来ていない。車でのドライブ。	コロナ感染禍で外出自粛中であるが、個別で近隣周辺のドライブや医療機関への受診・駐車場出入り口での外気浴や花壇の花の観賞ができるよう支援している。地域行事も自粛中であるため、事業所内で楽しめるような支援を工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々に応じて買い物の機会を作り出かけるようにしている。少額を所持してもらったり、買い物の時に渡したりして楽しみを持てるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の取次や家族・友人につなげたりする支援はいつでも対応するように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節感が味わえる花を生けるように心がけている。季節感のある作品を作り壁に貼つて楽しめるように工夫している。又居室には本人の作品等も掲示し面会時には家族にも一緒に楽しめるようにしている。	玄関には季節の果実や花を飾り、理念を掲示している。ホールに空気清浄機を置き、温湿度・採光を調整し、過ごしやすい環境を心がけている。テレビや壁には刺繡・利用者と職員との合作ちぎり絵などを掲示し、居心地よく過ごし、楽しめるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングやホール内にソファー やテーブルを配置してくつろげる空間を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の思いでの写真や作品等を貼付したり、本人の馴染みの物を置き、それぞれの利用者の能力や好み、生活のスタイルに合わせて本人や家族の意向に合わせて工夫している。	居室はエアコン・ベット・タンスを設置し、寝具類は持ち込みである。馴染みの洋服掛け・カラーボックス・テレビ・ラジオ・家族の写真・誕生日のプレゼント等を持ち込み、安全に、居心地よく過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール、居室すべてバリアフリーになっている。要所要所に手すりがあり、安全面に配慮している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆつたりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目: 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

		1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	2 数日に 1 回程度ある
		3 たまに
		4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	1 大いに増えている
		2 少しずつ増えている
		3 あまり増えていない
		4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/> 2 職員の2/3くらいが
		3 職員の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/> 2 家族等の2/3くらいが
		3 家族等の1/3くらいが
		4 ほとんどいない